

平成28年 年忌表

1周忌	2015(平成27)年
3周忌	2014(平成26)年
7周忌	2010(平成22)年
13周忌	2004(平成16)年
17周忌	2000(平成12)年
25周忌	1992(平成4)年
33周忌	1984(昭和59)年
50周忌	1967(昭和42)年

この『年忌表』とお持ちの『過去帳』をご参照のうえ、2016(平成28)年にお迎えするご法事を「確認」ください。また、ご不明な場合は、西山別院までお尋ねください。

地域活性化へ向けての活動

西山別院では、桂地区の活性化に向けて様々な活動に取り組んでおられる団体に場所の提供を行っています。

す。今後も地域活性化に取り組んでいきたいと考えておりますので、これら行事への参加だけでなく、場所の提供をご希望の方はどうぞご相談ください。



桂フェスティバル

11/1



西京音楽祭

11/20

仏教壮年会の活動

2015(平成27)年11月25日(水)、第二回西山別院ゴルフ大会を開催しました。佐々木輪番はじめ、12名の参加がありました。今後も定期的に開催を予定しておりますので、興味



がおりの方はどうぞご参加ください。ご婦人方も歓迎です。

西山別院仏教婦人会

西山別院仏教婦人会では、主な活動として、月に一回の例会や西山別院の恒例法要への参拝、恒例行事への参加を行っています。また、ご本山へ参拝したり、研修したり、旅行なども行っています。今後も、新しい活動を企画する予定です。入会を希望いただく方は、西山別院までお問い合わせください。



本願寺西山別院報

久遠

〒615-8107
京都市西京区川島北裏町29番地
Tel: 075-392-7939
Fax: 075-394-4416
発行者: 佐々木孝昭

新年のごあいさつ



本願寺西山別院輪番
得度習礼所・教師教修所所長
西山幼稚園園長
佐々木孝昭

あけましておめでとございます。新年をお念仏とともに迎えられること、お喜び申しあげます。

2015(平成27)年を振り返りますと、様々な出来事がありました。安全保障関連法案が衆議院本会議で可決され、東京オリンピックにま

つわる話題として、建設費が高騰していた新国立競技場建替え問題、エンブレムにまつわる盗用疑惑がありました。

また、「爆買い」やラグビー日本代表の活躍などが話題となった年でした。今年みなさんにとってどんな年になるのでしょうか。

私たちは、自分勝手に、思い通りにいかないと、不平、不満をこぼしながら日々を送っています。仏さまは、そんな私たちを責めることなく、そのようにしか生きられない姿を悲しまれ、救いの目当てとしてくださっているのです。

浄土真宗では、欲望のために、祈

ることはしません。欲望にはきりがなく、迷いを深めることになるからです。欲望をかなえるのではなく、私たちが忘れかけている、「他人を思いやる気持ち」や「生きていることへの感謝」という心を与えてくださるのです。

新年を迎えるにあたって、仏さまの前に座らせていただきますと、心が洗われ、日頃の日暮らしを見つめ直す機会になるのではないかと思います。

みなさんにとってよきご縁がありますよう念じあげ新年のあいさつとさせていただきます。





式典後の記念行事は、法話楽団 迦陵頻伽による歌と法話が披露されました。迦陵頻伽は、歌を手掛かりに仏さまのみ教えを味わう活動を展開する団体です。ご門主や参拝者のみなさんと一緒に「しんらんさま」「しょうじょうじのためぎばやし」「見上げてごらん夜の星を」「バラが咲いた」「恩徳讃」「ゆうやけこやけ」などを歌い、最後に主宰者西脇眞師の法話で行事を締めくりました。合唱と西脇氏の心温まる法話で終始和やかな雰囲気でした。

専如ご門主ご巡拝

去る十月二十一日に、第二十五代専如ご門主が西山別院をご巡拝されました。

ご門主は本年の十月からお勤まりになる「伝灯奉告法要」に向けて、全国をお回りになりますが、その初日に、西山別院へお越しいただきました。

西山別院に到着されたご門主は出迎えた西山幼稚園の園児や門信徒らに親しくお言葉をかけておられました。到着後、西山幼稚園の保護者、仏教婦人会の役員の方々と懇談を持たれ、ご門主を囲んで、幼いころから手を合わせる習慣や環境が大切であることなど、積極的な意見が交わされました。

懇談後、本堂で記念式典が行われました。記念式典では、ご門主から「伝灯奉告法要についての消息」を親読いただき、随行長より御消息を拝受いたしました。

式典で挨拶した佐々木輪番からは「このご勝縁を迎えることが出来たことを喜び、来る伝灯奉告法要に向けて一人でも多くの参拝者を募っていきたい」と抱負が述べられました。



記念行事終了後、ご門主からお言葉をいただきました。

ご門主はお言葉のなかで「ぜひ今後ともみ教えを聞いていただき、ご縁ある方にも、み教えを聞くことをお勧めいただきたいと思えます。若い方に教えが伝わりにくくなっていますが、時代は変わっても浄土真宗のみ教えが、私たちが生きていくうえで大切なものであることに変わりはありません。来年より伝灯奉告法要をお勤めすることになっていきますが、今までお寺にご縁のない方にもお参りをいただき、み教えを伝えていきたいという願いを持ってまいります。」と述べられました。



西山別院では、このご巡拝を機縁に、本年の伝灯奉告法要に向けて、一人でも多くの方とお参り出来るよう団体参拝を募集する予定です。